

講師紹介 01



Name

石川 貴之

Birth.

1988.2.7

Born

垂井町

Live

垂井町

Company

株式会社濃建
(垂井町)

Studies history

不破中学校
大垣市公立高校普通科
愛知県私立大学経営学部

Work history

愛知県地方ゼネコン
現在の会社



INTERVIEW

Q

今の事業所(会社)がやっている業務内容と、自分自身のお仕事内容を教えてください。

建設業の中でも軌道工事という仕事に特化した会社になります。軌道工事とは新しい線路を作ったり、古くなったレールやマクラギなどを交換して電車が安全に走行できるように手助けする仕事です。私は代表取締役社長として新しく働いてくれる人を採用活動したり、現場で安全に仕事ができているかパトロールしたり、今後の仕事の計画をお客さんと打ち合わせたり、事業で必要なお金を打ち合わせして銀行から融資を受ける手続きをしたり、従業員の皆さんが安心して働ける環境を作る仕事をしています。



Q

中学2年生の時はどのような学生でしたか？

部活動中心(軟式野球部)の生活でした。同じ学年に人数も多かったので3年生が引退してからレギュラーを目指すために仲間同士で切磋琢磨していました。



Q

進路について考え始めたのはいつ頃ですか？

大学進学を考えた時、当時社長だった父親の背中を見て広い視野で経営に携わりたいと思い経営学部を選択しました。



Q

この地域ではなく、都会で働きたいとは思いませんでしたか？

都会への憧れはありました。大学も県内ではなく通えそうな名古屋市内を希望したのは都会への憧れからだと思います。サラリーマン時代、東京支店に勤めていた時様々な人に出会い貴重な経験をする事ができました。



Q

この地域の良さは何だと思えますか？

日本の中心部に位置しているので移動手段が豊富で、また田舎と都会が入り交じり生活しやすい地域だと思います。



Q

今の仕事に就くために、何をしましたか？

大学の学部を専攻するにあたって将来を意識して選びました。また経営の基礎の一つである簿記・会計については大学生時代から意識して勉強してきました。サラリーマン時代に会社で必要な資格を取得後、事業継承を意識し中小企業診断士という資格に興味を持ち勉強を始めました。結果的に資格取得までは届きませんでしたが、勉強で得た知識は経営にとっても役立っています。



Q

今の仕事の大変なところと、やりがいを教えてください。

現場が夜勤の場合が多いので自分が現場に出ていなくても事故・事象があった場合は何時でも現場に駆けつけて行くことがある所です。作業を実際行うと、始発列車前に作業を終わらせなければならないプレッシャーやネジ1本置き忘れが許されない状態なので緊張感や厳しいレールがあると思います。やりがいとしては日本の大動脈と言われている東海道新幹線・東海道本線をメンテナンスすることによってお客様(乗客)の生活を支えたり・日本経済に貢献できている事です。



Q

その業界の仕事に就くためには、どうすればいいですか？

建設業の会社に就職するのなら、高校から選択を迫られます。建築学科・土木学科と専門学部があるので工業高校に自分が希望する学科や専攻があるのかを確認した方が良いと思います。また現場が僻地であったり、道具を運んだりするので、仕事をする上では車免許は必須になります。弊社の様な軌道工事においては夜勤での作業もあります。日本の法律では18歳未満は夜勤が難しいので、興味があったとしても年齢が18歳を迎えてから挑戦して下さい。

